

良識ある保守主義・情報公開

吉田つとむ

町田市議会議員 支持政党なしの方々の代表

<編集発行>

〒194-0011 町田市

成瀬が丘 1-14-12

サンホワイト E103-13

自宅 042-795-7361(fax 兼用)

市議会議員 吉田つとむ

yoshidaben@gmail.com



工芸館建設問題の議論とその論議経過

町田市立工芸美術館建設は長年準備してきた、されてきたというのは自己矛盾そのものです。石阪市長の4期目の選挙公約の主張には入っていませんでした。令和2年第4定例会の吉田つとむがその一般質問で尋ね、市長本人の答弁で「公約に入れていなかった」ことが判明しています。つまり、石阪市長の4期目は信任されたものでしたが、町田市立工芸美術館建設の是非は町田市民に是非を問われなかった内容であり、むしろ、避けられたテーマであったと言えます。公約に入っていないという答弁は、最初部長からでしたが、再々質問では市長が明言し、「マニフェストに全部を盛り込むものではない」とし、後援者と話して記載しなかったという趣旨を答弁しました。この時は、小中学校の再編(統合の意味)も入れていなかったという内容でした。市長は、「このマニフェストでは議論をする気が無い」と言い切ったものでした。



なかなか珍しい構図だった伝統芸能大会：議長時代

後になってみれば、選挙で市民に是非を問わないまま、行政機関や諮問機関を通じて、市民の声は聞いたとして、近隣や本来の当事者が参加して行うべき議論がショートカットされて計画を練り上げる手法が強行されてきました。果たして、石阪市長は置き土産にどういう施設を作り上げようというのでしょうか、疑問が解けません。

一般質問：中学校の探求学習と海城中学校の教育の在り方

今回の海城中学校2年生の対面取材は、そもそもが、本人からの自宅の留守番電話のアポイントから始まり、対面取材を快諾したのですが、メールで対面取材の要領の照会を受け、社会科学習で自身が設定した問題に関して、議会の面談室で直接会った上で、取材を受けたものです。

見学先：町田市バイオエネルギーセンター



混入したリチウムイオン電池を手作業でえり分ける

その後、直接取材の後、学校の先生とやり取りをさせていただいたのですが、その生徒さんとのやり取りがなかったので、「正直、レポートはできたのだろうか」と気になっていました。しかし、この度、間もなくして生徒さん本人による手書きのお礼状を手書きの封書に入れて、送ってくれたものでした。学校も、本人の住まいも町田市ではないことで、この先に会うことがあるかどうか分かりませんし、特別に連絡を求めるものでもありませんでした。

(レポート作成は)順調に進んでいるとのことを記してあり、安心しました。さらに、自分が中学生の自律的な勉強のお役に立てて何よりのことだったと思っています。そこで、書き添えたことは、私も議員ではなく、行政の立場で物事の解決を図る案を検討する機会があつて、勉強になりました。という趣旨を書きました。「これからも勉強を重ね、新しい発見をして下さい。」と期待を込めて終わりました。

○支持政党なしの方々の代表＝吉田つとむの基本理念は、良識ある保守主義です。

○吉田つとむは、「若者育成」をトップの政策に掲げています。

◎町田発技術を駆使使用した水耕栽培メロン 全国に広がる産地を結集、まずは日本一を決める

町田市議会の無所属会派は、政党に所属しない議員3名で構成し、明快な議論を提起します。

若い世代の育成に全力をささげる
町田市議会議員(支持政党なしの方々の代表)

吉田つとむ


ブログ


個人HP


メールは
左記を読込
して送信


好評インターンシップは、第
57 期生が先行スタート。

議員の国保回避、社保加入問題

一般に地方議員は現職中に「報酬」という対価を受け取ります。市長や職員との大きな違いは、社会保険の適用の有無にあります。議員は社会保険が適用されず、自分で国民健康保険に加入する必要があります。その全額を自分で払うことが必要です。そのため、都議会議員では年間 100 万クラスの額になり、市議会議員でも 80 万円前後になるケースが大半でしょう。＊報酬額で異なります。

それをずるく、節約する方法が編み出されました！その方法は、議員が社団法人などに加入し、自分が一定額の負担金を出しながら、少額の給料をもらう方法で、その金額に応じた社会保険の扱いをその法人にしてもらう方法だということです。その方法だと、議員が国保に入った場合より、はるかに少ない金額で社会保険に加入したことになるようです。そのことで当事者は、「違法ではない」という見解の元に、自分の手取りを増やせるマジックを生み出しているのですが、果たしてそうした議員は、国民健康保険の議会論議に関して、どのような意見を述べているのでしょうか、沈黙をしているか、雄弁を吐いているか、国保の危機が過大となる中、その実態を地方議員全体が明らかにするべきでしょう。以下の年末調整の表のように、吉田つとむの年間負担額 92 万 2800 円です。吉田つとむは、年齢的にいわゆる後期高齢者ですが、現役の収入額と変わらず、保険も国保並、診療も 3 割負担で、正しい負担額です。

令和 7 年分 給与所得の源泉徴収票

氏名	吉田 つとむ	生年月日	1954.08.15	性別	男
職業	町田市議会議員	勤務先	町田市議会	給与支払先	町田市議会
給与・賞与	1,234,567	源泉徴収額	123,456	支払総額	1,111,111
社会保険	国民健康保険	保険料	922,800	支払総額	922,800
その他					

インターン体験記⑥古閑 永都

これまでのインターンでは議員の在り方や議会との関わりなどの仕組みを学んできましたが、今回は実際の議員活動などの「現実」について学びました。今般は近年増加傾向にある、政界への異業種からの参入について掘り下げます。議員は 4 年おきに無職になるリスクを抱えており、存続には期数を重ねる必要があります。中には器用に住民の心を掴む者もいるでしょうが政治家も元は同じ人です。その全てが矢面に立つ人間として理想的な性質を持っているかというと、そうではないでしょう。それらをはじめとする、政治家に対する住民のもどかしさが不満となりそれが鬱積すると彼らでダメなら自分たちが、という発想になるのも理解し易いことです。



私立高校 2 年生 古閑永都(第 57 期生)

実際に近年の政治家(政治屋も含む)の動きを拝見すると、トレンドはいかにして他と差をつけるかにあるようです。政策は勿論のこと、生い立ちや境遇など自分の生きてきた人生そのものが武器になり得ます。政党も活発に他党との違いを出せる候補者を用い自党をブランディングしていますが、その中には政治に関して浅学な有名人や自身では判断もままならない方も含まれます。確かに良く思っていないことに対し積極的に行動を起こすことは賞揚されるに値しますが、前述のことを踏襲するならば矢面に立つ人間にはその覚悟と最低限郷に従うマナーが求められます。そのため、私は政治家になることがその結論の全てだとは思いません。

◎吉田つとむのインターンシップは 1998 年に開始、2026 年 1 月末までに 115 名が参加しています。
◎57 期生として、私立高校 2 年生の「古閑永都」さんのインターン研修体験記を掲載中です。講義が中心ですが、視察見学記も加えています。
＊次期のインターンシップは、2026 年春季第 57 期の受け入れで照会中です。